

■ 指定管理者制度導入施設 年度評価シート ■

評価年度

令和4年度

1 基本情報

公の施設名	相模原市立新磯ふれあいセンター及び相模原市立相模の大風センター
指定管理者名	公益財団法人 相模原市まち・みどり公社
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
施設設置条例	相模原市立ふれあいセンター条例及び相模原市立相模の大風センター条例
施設の設置目的	<ul style="list-style-type: none"> 市民の健康の保持及び増進並びに高齢者の福祉の向上に寄与する(相模原市立ふれあいセンター条例第2条) 相模の大風文化の保存、継承を図るとともに、これらに関する理解を深める場を市民に提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、もって豊かな市民文化の向上に寄与する(相模原市立相模の大風センター条例第2条) 相模原市立新磯ふれあいセンター及び相模原市立相模の大風センターは、直営の新磯こどもセンターを併設している。三施設を合わせた複合施設の愛称を「れんげの里あらいそ」とし、各施設が連携を図ることにより世代を超えた交流の場となることを複合施設設置の目的としている。
施設概要	所在地: 相模原市南区新戸2268番地1 構造: 鉄骨造一部鉄筋コンクリート 2階建 面積: れんげの里あらいそ 延床: 3,068.40㎡ 敷地: 5908㎡ 新磯ふれあいセンター 1,610.95㎡ 相模の大風センター 937.82㎡
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課、南区役所 地域振興課

2 管理実績

項目 (単位)		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利 用 人 数	新磯ふれあいセンター	85,301	79,631	62,175	313	20,146	41,476	
	相模の大風センター	10,262	12,181	10,261	1,419	4,062	4,967	
	全体合計 (人)	95,563	91,812	72,436	1,732	24,208	46,443	
利 用 料 金	新磯ふれあいセンター	4,778,590	4,519,760	3,740,285	15,375	1,641,555	3,445,580	
	相模の大風センター	366,860	307,825	298,000	0	179,100	271,930	
	全体合計 (円)	5,145,450	4,827,585	4,038,285	15,375	1,820,655	3,717,510	

■新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う施設休所の期間について

○新磯ふれあいセンター

- 令和元年度: 令和2年3月1日～31日で休所 (329日間の開所)
- 令和2年度: 令和2年4月1日～令和3年1月3日、1月8日～3月21日の期間で休所 (14日間の開所)
- 令和3年度: 令和3年8月6日～9月30日 (302日間の開所)

○相模の大風センター

- 令和元年度: 令和2年3月1日～31日で休所 (329日間の開所)
- 令和2年度: 令和2年4月1日～7月9日、令和3年1月8日～3月21日の期間で休所 (192日間の開所)
※工作室については令和2年7月10日～12月28日を利用中止
- 令和3年度: 令和3年8月6日～9月30日 (302日間の開所)

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
D	成果指標の達成度は76.6%となり、評価基準に基づき「D」評価とする。 施設利用率は上昇したが、新型コロナウイルス感染症の影響による利用制限もあり、目標値には達していない。しかし、ホームページのリニューアルやインスタグラムのアカウント開設などによる施設PRを新たに行い、利用率増加のために取り組んだ点で評価できる。

指標	
指標名（単位）	施設利用率（%）（夜間を除く）
指標式と指標の説明	専用利用に係る承認件数／専用利用申込み可能件数（夜間を除く）

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	（※1）	（※1）	63%	64%	65%	66%	67%
実績値（%）	61.9%	58.3%	53.7%	（※2）13.6%	45.3%	48.7%	
達成度（%）	（※1）	（※1）	85.2%	（※2）21.2%	69.7%	73.8%	

（※1）平成30年度までは夜間利用を含めた目標設定だったため、平成29年度及び平成30年度は夜間利用を除いた実績を記載

（※2）令和2年度については開所期間が短かったことから評価対象外。開所期間（14日間）の実績値及び達成度。

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	事業の実施状況については基準点に対する実績点の割合が106.52%となったため、評価基準に基づき「A」評価とする。 新磯ふれあいセンターにおいてコロナ禍では開催することができなかった「ふれあい寄席」や「ふれあい美術展」等の事業を令和4年度には実施した。また、相模の大風センターにおいてはフォトスポットの設置などにより、来館者が気軽に発信できる環境づくりに取り組んでおり、積極的な事業の開催に努めたことを評価する。 令和5年度は両施設ともに多世代を対象とした新規事業が計画されており、利用者のさらなる増加、施設の活性化を期待する。

市が指定する事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
高齢者ふれあいの湯	11月・1月	濃縮温泉水を使用し、温泉気分を味わっていただき、健康増進を図る。（参加者：11月：183人、1月：222人）	○
風の展示	通年	大風センターに寄贈された風等の展示を行う。（参加者：3,039人）	○
大風まつり写真展	7月～8月	過去の相模の大風まつり写真コンクールに応募いただいた写真を、館内に展示する。（参加者：139人）	○
風づくり教室	6月～3月	風の絵付けや、竹骨の組み立て、糸目付を通して日本の伝統文化「風」の魅力を伝える。（参加者：29組/50組）	○

企画提案事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
リンパの流れとヨガ教室	4月～6月	ヨガ体操を通してリンパの流れを良くし、健康づくりや仲間づくりを図る。（参加者：27人/40人）	○
ソフトエアロピクス&リンパストレッチ教室	10月～12月	音楽に合わせて体を動かし、ストレッチ等を通して健康づくりや仲間づくりを図る。（参加者：34人/40人）	◎
ふれあい寄席	11月	世代を問わず楽しめる寄席（落語）を開催する。（参加者：37人/60人）	○
ふれあい美術展	10月	日頃から本施設をご利用いただいている文化サークルによる陶芸や書道、水彩画などの展示会を開催する。（参加者：96人）	○
寄せ植え教室	5月・11月	季節の一年草数種類を植え付けて、半年間ほど花を楽しむ寄せ植えにする。（参加者：5月：15人/15人、11月：15人/15人）	◎

自主事業			
事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
ホームページのリニューアル	9～3月	利用者に向けた確かな情報発信をするとともに、利用者の利便性向上と新規利用者の獲得を目的として実施。	○
有線放送の活用	6～3月	利用者にとって明るく居心地の良い空間を提供し、利用者サービスを向上させ、利用者満足度の向上を図る。	○

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	利用者満足度の目標値に対する達成度は新磯ふれあいセンターが107.6%、相模の大夙センターが104.7%となるため、評価基準に基づき「A」評価とする。 両施設とも昨年に引き続き、高い満足度を得ており、目標値を達成している。しかし、令和4年度は令和3年度よりも低い達成度となっているため、利用者からの意見を参考に、令和5年度はさらに満足度の高い施設となることを期待する。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	調査手法:利用者満足度調査(アンケート)/実施期間:令和4年6月13日(月)～6月26日(日) 回答数:ふれあいセンター186件、大夙センター103件
目標値の基準	90%(施設の総合的な満足度の回答における「満足」、「どちらかといえば満足」の合計の割合)

新磯ふれあいセンター

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(%)	90%	90%	90%	90%	90%	90%	90%
実績値(%)	98.4%	95.5%	95.7%	—	98.4%	96.8%	
達成度(%)	109.3%	106.1%	106.3%	—	109.3%	107.6%	

相模の大夙センター

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(%)	90%	90%	90%	90%	90%	90%	90%
実績値(%)	92.1%	90.6%	93.8%	—	100.0%	94.2%	
達成度(%)	102.3%	100.7%	104.2%	—	111.1%	104.7%	

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
ご意見箱	通年	ご意見箱を設置し、いつでも気軽にご意見を受け付けられるようにしている。
事業参加者アンケート	通年	自主事業開催時に参加者を対象にアンケートを実施。受け付けたご意見を参考に、新規事業等に反映していく。
施設利用団体連絡会	毎月1日	毎月1日に実施している専用利用の抽選会の際に、団体に対する連絡事項及び団体からのご意見等のヒアリングを行っている。

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	本体事業収支、全体収支ともに黒字であり、団体本体の経営状況についても特段の課題はないため、「S」評価とする。

施設の収支概要

※直近3年間について記載

(千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収入 (a)	71,845	69,410	70,232
指定管理料	64,268	63,991	64,014
利用料金収入	18	1,821	3,718
その他の収入	7,559	3,598	2,500
支出 (b)	54,799	58,562	66,205
人件費	23,043	25,823	26,043
本社管理経費	4,618	4,462	4,840
その他の支出	27,138	28,277	35,322
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	17,046	10,848	4,027
自主事業収入 (d)	145	459	860
自主事業支出 (e)	120	204	416
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	25	255	444
全体収支 【(c)+(f)】	17,072	11,103	4,471
備考	指定管理料の返還分については、対象年度の翌年度に返還されていることから上記金額に含まず。 返還金額：令和元年度分488,091円、令和2年度分14,255,855円、令和3年度9,133,344円		

団体の財務状況

団体本体の経営状況について特段の問題はない。

7 管理業務の履行状況

検査方法	実地検査及び指定管理者へのヒアリングにより実施
実施時期	令和5年3月17日・20日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成

有

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	×
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	×
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	

9 指定管理者の自己評価

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止による利用制限が徐々に解除され、通常の施設運営に近い状態に戻ったが、施設の利用者数は依然、感染者数の動向が影響した状況となっている。成果指標の目標値については未達成となったが、自主事業の参加人数については、徹底した新型コロナウイルス感染症対策や、HPや広報さがみはら等での積極的な周知等により、コロナ禍前の水準に戻っている。また、インスタグラムのアカウントを新たに開設し、自主事業のPRや当日の様子などを視覚的に情報発信することで、広報面の充実を図った。

利用者満足度については、両施設とも高い満足度を維持している。以前から要望のあった卓球台の増設など、実現可能な要望について取り組んだことで、利用者の満足度も向上したと考えられる。引き続き、利用者ニーズの把握と反映に努めるとともに、アフターコロナに向けて、キャッシュレス決済の導入やSNSでの情報発信に努め、施設の利用者増加に繋がるよう積極的に取り組みたい。

10 所管課意見

新型コロナウイルス感染症による影響が残る中で、SNSや広報さがみはら等の多様な媒体を通じて施設や事業のPRを行い、施設の認知度上昇や利用者の増加を図った点を評価する。

利用者からの要望を踏まえ、利益の還元として卓球台を増設した点を評価するとともに、令和5年度も利用者の声を踏まえた管理・運営を期待する。

成果指標は目標値に達していないが、魅力的な事業の開催や継続した施設PRにより、コロナ禍で失った利用者に戻し、活気ある施設づくりに繋げていくことを期待する。

11 選考委員会意見

・相模の大風センターの展示ホールにおいて、クールシェアに取り組み、学校帰りの小学生等にも立ち寄ってもらうことで親しみやすい施設となるのではないかと。

・空調設備の導入等を通じて、利用者が施設を快適に利用できるよう指定管理者として努力をしていただきたい。

・相模の大風センターに展示されている凧は、開設から20年の間、リニューアルが一度も行われていない。関係団体との連携も視野に入れたうえで、凧の入れ替えを行う等、大風文化のPRに力を入れていただきたい。

・利用者満足度調査については、年間を通じて実施するべきである。

・利用者満足度が高い点を評価している。地元の方々に長く愛される施設としてあり続けてほしいので、適切な維持管理と長寿命化に努めていただきたい。

・総合評価について、令和3年度はA評価だったが、令和4年度は管理業務の点数が下がりB評価となった。指定管理者が注意を払えば評価を維持できる項目であるため、細部にも留意して管理に当たっていただきたい。

総合評価（自動判定）

B

(65/100)

